

平成 18 年度日本水産学会九州支部第 1 回評議員会議事録

平成 18 年 6 月 24 日午前 11 時 40 分から
於：宮崎大学農学部水産科学会議室(S104)

定数確認（委任状 15；出席 7）

1. 開会の辞

2. 議題

（1）経過報告

1) . 平成17年度総会，幹事引継等の全般的説明

2) . 平成18年度役員（資料 1 参照）

（2）平成 18 年度事業計画（資料 2、資料 4 参照）

（3）平成 18 年度予算（資料 3 参照）

（4）その他

1) . 支部担当理事からの報告（資料 5-1～5-2 参照）；
九州支部の細則の一部変更が報告された。その中に、昨年度の総会で認められた 11 条（総会の成立の件）と会費の事項についての変更が報告された。支部会費の徴収をしないことは、九州支部総会で認められていたものの本部に連絡が行っていなかったということで、一括して今回の理事会で変更・削除の承認を受けた。

2) . 九州支部のあり方（資料 6 参照）

3) . その他

3. 閉会の辞

1. 平成 18, 19 年度日本水産学会九州支部役員 (資料 1)

支部長	村田 寿
支部評議員	本城 凡夫
支部評議員	大嶋 雄治
支部評議員	伊東 信
支部評議員	中園 明信
支部評議員	松山 倫也
支部評議員	四宮 明彦
支部評議員	川村 軍蔵
支部評議員	手島 新一
支部評議員	門脇 秀策
支部評議員 (支部長指名)	田中 淑人
支部評議員	石松 惇
支部評議員	中田 英昭
支部評議員	荒川 修
支部評議員	神田 猛
支部評議員	香川 浩彦
支部評議員	伊丹 利明
支部評議員	岩槻 幸雄
支部評議員	幡手 英雄
支部評議員	前田 昌調
支部評議員	境 正
支部評議員	酒井 正博
支部評議員 (支部長指名)	関屋 朝裕
支部評議員 (支部長指名)	田代 一洋
会計監査	山田 卓郎
会計監査	鈴木 祥広
会計幹事	林 雅弘
庶務幹事	吉田 照豊

2. 平成 18 年度日本水産学会九州支部事業計画 (資料 2)

(1) 支部例会

日時： 平成 18 年 10 月 14 日 (土) 13:00~17:00
場所： 宮崎市民プラザ大会議室
〒880-0001 宮崎市橘通西 1 丁目 1 番 2 号
内容： シンポジウム案：
「水産物のブランド化と経営戦略
ー水産養殖産物の高品質化とその販売ー」
企画責任者： 佐野雅昭 (鹿児島大学)、香川浩彦 (宮崎大学)

(2) 支部総会

日時： 平成 19 年 1 月 27 日 (土) 13:00-13:30
場所： 宮崎大学農学部

(3) 支部大会

日時： 平成 19 年 1 月 27 日 (土) 13:35-17:00 (予定)
場所： 宮崎大学農学部
内容： 一般講演 4 時間 程度
要旨締切り 平成 18 年 12 月中旬
要旨集発送 平成 19 年 1 月初旬

(4) 評議員会

第 1 回 平成 18 年 6 月 24 日 (土) 11:40-12:20
宮崎大学農学部水産科学会議室(S104)

第 2 回 平成 18 年 10 月 14 日 (土) 11:30-12:20
宮崎市民プラザ大会議室
〒880-0001 宮崎市橘通西 1 丁目 1 番 2 号

第 3 回 平成 19 年 1 月 27 日 (土) 11:30-12:20
宮崎大学農学部水産科学会議室(S104)

平成 18 年度日本水産学会九州支部予算

(資料 3)

1) 収入の部 (単位: 円)

	平成 17 年度 決算額 (A)	平成 18 年度 予算額 (B)	増減 (B) - (A)	備考
前年度繰越金	279,471	183,134	-96,337	
本部交付金	427,200	428,600	1,400	
雑収入	11	0	-11	11 円は預金利息
計	706,682	611,734	-94,948	

2) 支出の部 (単位: 円)

	平成 17 年度 決算額 (A)	平成 18 年度 予算額 (B)	増減 (B) - (A)	備考
例会大会費	77,494	80,000	2,506	会場設営・印刷費
通信連絡費	169,800	100,000	-69,800	印刷物郵送費
消耗品費	23,764	25,000	1,236	事務文具
会議費	43,380	42,000	-1,380	評議会開催 (3 回)
謝金	111,110	166,670	55,560	講師・幹事謝金
臨時雇用賃金	98,000	30,000	-68,000	学生アルバイト
支出合計	523,548	443,670	-79,878	
予備費		168,064		
次年度繰越	183,134		-15,070	(H18 予備費)- (次年度繰越)
計	706,682	611,734	-94,948	

支部例会: シンポジウム

(資料 4)

日時: 平成 18 年 10 月 14 日 (土) 13:00~17:00

場所: 宮崎市民プラザ大会議室 〒880-0001 宮崎市橘通西 1 丁目 1 番 2 号

テーマ「水産物のブランド化と経営戦略」

「水産養殖産物の高品質化とその販売」

企画責任者： 佐野雅昭（鹿児島大学）、香川浩彦（宮崎大学）

主旨：平成18年度日本水産学会九州支部の支部例会として、シンポジウムを開催したいと考えております。今日の石油価格の高騰と水産養殖物の魚価の低迷・不安定により、水産業界においても大きな影響が出てきております。今回、日本水産学会九州支部会では、シンポジウムとして「水産物のブランド化と経営戦略」というタイトルで、特に“水産養殖産物の高品質化とその販売”という内容をサブテーマとし、魚価低迷に対し各県の養殖業界はどのような対策を立てているのかを内外にアピールする場と考えております。日頃、水産養殖産物の高品質化にご尽力されている方々に、ご専門の立場からご講演を願う予定です。

資料 5-1

日本水産学会理事会報告

1. 第3回理事会

平成18年度日本水産学会大会中の3月31日、高知市の城西館、会議室において開催された。議題は、会長、副会長等の選出であった。その結果、会長に會田勝美氏、副会長に青木宙氏と渡部終五氏が、それぞれ選出された。会長から特に、支部担当理事においては地域連携を強化するよう要請があった。

2. 第4回理事会

6月17日東京海洋大学品川キャンパス2号館会議室において開催された。議題は14件あった。本支部に関連する事項として、

- 1) 支部補助金配分として、428600円が配分されることとなった。昨年度と比べ、若干増額された。
- 2) 本支部では平成10年度と17年度の総会において細則の一部変更が、それぞれ承認されたが、それらの変更が理事会承認を受けていなかったため、今回の理事会において、資料3のとおり承認された。なお、本支部細則は資料5-2のとおりである。

その他、会長指名の理事候補者の選出等、数多くの議題があったが、詳細は後日発行の学会誌の理事会だよりを参照ください。

資料5-2

日本水産学会九州支部細則

第1条 本支部は九州地区内に住所のある日本水産学会員をもって組織する。

- 第 2 条 支部に、日本水産学会定款および同細則に基づき、支部長、支部評議員および支部長が指名した庶務幹事ならびに会計幹事各1名をおく。
- 第 3 条 支部の経費は日本水産学会からの交付金よび支部におけるその他の収入をもってこれにあてる。
- 第 4 条 支部の事部所は支部長の所属する機関におく。
- 第 5 条 支部は日本水産学会定款および同細則に基づき、学会の目的を達成するため、年1回の支部大会、年1回以上の支部例会、その他必要な事業を行う。
- 第 6 条 支部総会は年1回支部長が招集し、支部に関する会務、会計の報告についての事項、その他特に必要な事項を議決する。
- 第 7 条 支部大会、支部例会およびその他必要とみとめられる事業は、支部評議員会の議決によって行う。
- 第 8 条 支部総会および支部評議員会の議決は、日本水産学会総会および評議員会の議決方法に準じて行う。
- 第 9 条 支部細則の変更は支部総会の議決を要する。なお、本支部細則に特別に定めのない事項については、すべて日本水産学会の規定または慣例にしたがう。
- 第 10 条 支部細則は、昭和 45 年 12 月 13 日から施行する。

(昭和 49 年 2月 24日 一部改正)

(昭和 52 年 2月 19日 一部改正)

(昭和 56 年 1月 31日 一部改正)

(昭和 57 年 2月 6 日 一部改正理事会承認)

(平成 18 年 6月 17 日 一部改正理事会承認)

補 則

- 第 11 条 支部総会は支部正会員の1/10の参加(委任状を含む)をもって成立する。

(資料 6)

九州支部の将来のあり方
以下の意見が出された。

九州支部の活性化

1) 九州支部の学生への賞は？

- ・支部総会時の研究発表に対する学生の賞、あるいは九州支部の学生の研究に対する賞を考えてみてはどうか？
- ・九州大学での検討経過を披露された。
- ・他の学会の動向を調べ、検討を継続する。

2) 予算の増額要求

- ・支部理事にお願いする。
- ・同時にシンポジウム等、活性化につながるものを考える必要がある。